From Kobe　12 月　　《　師走　あっという間の一年　古希を迎えて　》

みんな笑顔で暮らせる社会への変革を　若者たちのエネルギーに託したい

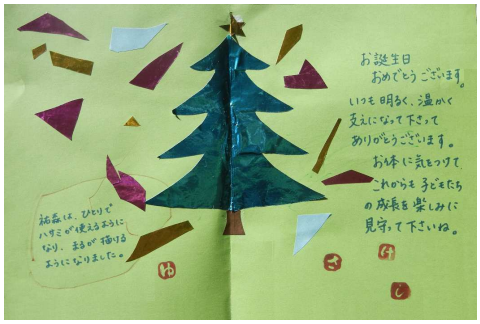
でも　ぼやいてばかりはいられない　70 歳　まだまだ早い　せくな 老楽　これからよ

お付き合いいただいてありがとうございます　引き続きよろしくお願いします

丹後のばら寿司　古希の祝いで

この 12 月に 70 歳を迎えて　孫や家族が祝いの席を設けてくれて、こんなことがありました。

2013.12.12.　From Kobe　by Mutsu Nakanishi



この 12 月に 70 歳になり、孫たち家族が一緒に 70 を祝ってくれた。

老人手帳のほか市バスや地下鉄の高齢者優待パスが送られてきて、自動車免許の更新には高齢者講習。

「好奇心と行動力さえ　失わなければ　いつまでも若者」との思いはあるが、

高齢者講習でひたひたと忍び寄る老齢化の波を思い知る。　でも健康でいれば　まあ　ええかと・・・・。

祝いの席でふと壁をみると下記　長寿の心得が　掲げられていて　元気が出る。

「人生は山坂多い旅の道　古希　70 歳でお迎えが来た時には　まだまだ早いと言へ

喜寿　77 歳でお迎えが来た時には　せくな老楽　これからよと言へ」

カニの季節　蟹が食べたいという私に、神戸の北三田にある店「猿蟹合戦」で　2013.12.8.

予備知識もなく出かけた店　それがなんと　オーナ・料理人

みんな親父の故郷　丹後の方で、カニは本場のズワイガニ。

うれしくなって「うまい　うまい」と。

帰りに持ち帰り手土産に持たせてくれたのが「丹後のばら寿司」

甘辛くそぼろに煮詰めた鯖の身を二段に敷き詰め、その上に

彩りよくかまぼこや錦糸卵やエンドウ紅しょうがなどを飾り付けた

「丹後の晴れの日に作られるばら寿司」。

こどもの頃　丹後へ行くと　いつも帰りに持たせてもらった田舎丹後

の味。　よく母がつくってくれたおふくろの味でもある。

もう長年記憶の奥深くに忘れていた丹後のばらずし。

持ち帰って開くと　懐かしい姿　一口食べると「この味や」と。家内と二人　むかしを語り合いながら食べた絶品の味。

家族みんなの祝いの席に思いもかけず登場した田舎そして父母を思い出させてくれた丹後のばら寿司。

岡山の祭りすしや山口の岩国すしほど有名ではありませんが、私にとってはうれしい絶品の味。

だれしも　もう記憶の奥深くに　しまいこまれた　それぞれの味・一品があるのだろうと。

まだまだ早い　せくな老楽　これからよ

お互い　好奇心・行動力さえあれば　まだまだ、これから。　無理せず　元気に前向いてと

本当にうれしい一日になりました。

古希の祝い　2013.12.8.丹後のカニ料理三田市「猪磨合戦」で

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　あっという間の一年　古希を迎えて　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

あっという間の一年　　今年古希の歳に。

自分では　素晴しい時代に生きてきたと思っているのですが、ここ数年の政治・経済の動きにはついてゆけず。

何の反省も知恵も学びもなく、外見を装いながら、都合よく価値観を変化させる今の政治・経済界。

「スピードと効率化」・「集中と選択」が国際化の原動力と過信して、全体社会を見据えているとはとても思えず。

過酷な競争社会が出現する中、口では地方振興・平等な利益配分を唱えながら、その実　加速度的に中央集権・大企業・東京中心の運営を猛進しているとしか私には見えない。

昨年も　まったくおなじだったのではないか??　とこの時期　何を書いていたか読み返してみると

山口の高校生たちが検討した「『楢山節考』と『掟』の意味」の記事について紹介し、

「掟」には　社会が共有してせねばならぬ生き抜く道として「心くばり」があると紹介している。

オリンピック招致に「おもてなし」を説いた人たちには　その底にある「心配り」が微塵も見られない・・・

あれだけ「東日本大震災からの復興」を唱えながら、「東京再開発」の経済効果論の大合唱　地方は益々見捨てられてゆく。

多数派に名を借りた陰惨な所業が平然と正当化される不安感と閉塞感ただよう社会がひそかに進行している。

言葉にまったく誠意が感じられず、知恵も行動の深さもなく、ただ棒読みの「掟破り」。

何の思慮も配慮もなく数だけが自らの正義といわんばかりの政治。自民党を大多数にした責任が重くのしかかっている。

暴虐無人　村社会的な振る舞いの政治には　歯止めのかからぬ「掟破りの社会」の怖さが潜んでいると。

老いぼれてぼけてしまったのか・・・・

社会が異常なのか・・・・

風来坊を決め込むわけに行かず、孫たちの時代の行く末を案じている。

今年もまた、同じことをぶつぶつ進歩のなさを詫びつつ　自戒の騙し絵も。

「大多数の人が　弱肉強食の過度な競争に晒される社会は　もう　ゴメン。みんな笑顔で暮らせる社会への変革を　」。

「娘さん」に見えたり、「婆さん」に見えたり　自戒の絵　人それぞれの思いで変化する　だまし絵

「真実も正義も　その立つ位置がかわれば、変わるのだ。 絶対の真実や正義などありえないのだ」と傲慢に言い放ち、　、豹変する姿が、実に今の世相を反映している様に見えました。

「それやったら　立つ位置　初めにみんなにみせろ」と言ってみるのですが・・・・・・　実に印象的でした。

最近の世相をみていると　どこもかしこも　こんな構図がひしめいているのではないか・・・と。

立つ位置をあいまいにして、変わり身の早さを信条に「選択と集中　スピード経営」を旗印の即物的な収益・マネーゲームに終始するビジネスモデルが主流の昨今　本当にこれでやっていけるのだろうか・・・・・と。

「急激に大きくなった会社はやっぱり　急激に衰える。 その点　百年企業は急激な収益増は出さないが、もし、衰えるとしても百年かかる。 そんな会社にはスピードを追わぬしっかりした百年理念が流れているどちらのビジネスモデルにしがみつくか　企業の度量が問われる　」とよく聞いたことがある。

その時には、「負け惜しみの美学か・・・・」などと自嘲気味になっていましたが、

その後の時代の流れが、真実を証明しているかに見える。

そんな時代　自戒の絵として、下に示す「騙し絵　」をよく「某半導体メーカーの若い技術屋と見ていたなぁ・・・・・」と。

この絵　どう見えるでしょうか・・・・・・

おばぁさん?? それとも　美しい娘さん??

「娘さん」に見えたり、「婆さん」に見えたり　自戒の絵　人それぞれの思いで変化する　だまし絵

自分には　娘さんに見えるのに　相手は婆さんと見ている。

一枚の絵にこれだけの視点の違いがあること をよく頭に刻んでおかねばならぬ。

真実を見間違う認識のズレ　これを知っていて操るやからが多くなっている昨今

以前にもまして　じっくりと見抜いてゆくことが大事な時代　自分の立つ位置をしっかりとせねば・・・・と思う。

2012年4月　from Kobe より

かつて「楢山まいり」の境遇に置かれた人達と同じ歳になった今、本当に恵まれた境遇に感謝せねばならぬが、
団塊の世代では　もう　これからの時代を乗り切ってゆけぬ変革は若者たちの手で。
そんな思いを若者のフレッシュな頭に託したい。

【　2013,年　From Kobe　一覧　】

Stay Young Day !!　今できることを　精一杯

お互い笑顔で　前向き思考　元気で乗り切って行きましょう
苦難に立ち向かっておられる東北の人たちにもいつも　思いをはせています。
忘れまい　忘れないで　暖かい希望の輪がつながっていることを　困難の中に居られる方々を　応援しよう!!

《　あまりにも　人の責任にするこの頃　職場で叩き込まれた言葉　》

- ◆　フィルド・現場を大事に　全体を眺め　個を知る
- ◆　原因を人の所為にせずルーツ原因の解明と防止　そして（対策突破の）歯止め

ニーバーの祈り「勇気・冷静・知恵」
変えられるものを　変える勇気と
変えられないものを　受け容れる心の静けさと
両者を見分ける叡智を

一は　1日一回　じっくり考える、
十は　1日十回　腹から笑う、
百は　1日百回　深呼吸、
千は　1日千字　書く、
万は　1日万歩　歩く

なかなかできないのですが、この１年　PC に入れて眺めてきた言葉
孫娘には「じいちゃん　気をつけや　知ったかぶりに　説教たれるのは　一番いや」と言われる
確かにそうです。必要以上にアプローチするのは　その人の楽しみをとってしまうと。
「でも　今　それがひようでは???」と　ついついやってしまう。心せねばと思っています。
本年　一年お付き合いいただいて　ありがとうございます　　引き続きよろしくお願いします

1. From Kobe　2013 年 1 月　迎春　2013 年 1 月　新しい変革の年に　fkobe1301.pdf
   《 21 世紀にふさわしいエンジニア「社会をデザインする工学　オーリンの三角形」》
2. From Kobe　2013 年 3 月　街で見かけた面白いこと　2013.3.5.　fkobe1303.pdf
   停車中の電車の中を通り抜けて　隣のホームへ移動できる阪神電車尼崎駅
3. From Kobe　2013 年 4 月 イースター 新年度に向けて　また　ぶつぶつ　です　fkobe1304.pdf
4. From Kobe　2013 年 5 月】 2013.年 5 月　新緑の季節便り　fkobe1305.pdf
   1.春景色　From Kobe　2.屋久島・種子島の不思議を島を結ぶ線で作った断面図で眺める
5. From Kobe　2013 年 7 月　2013.年 7 月　久しぶりの東京　fkobe1307.pdf
   これ以上過密の東京に投資して　いいのだろうか・・・とも
6. From Kobe　2013 年 8 月　ひまわりの夏の便り「あまりに多い想定外・経験したことがない」　fkobe1308.pdf
   「NHK 朝一番　ビジネス展望　内橋克人氏の『働き方の多様化とは何か』解説」を紹介
   言葉とはうらはら 創造性の欠如した今の時代　異常気象にだまし絵をダブらせて
   今一番自分にすっと入る「NHK 朝一番　ビジネス展望　内橋克人氏の解説」を紹介
7. From Kobe　2013 年 9 月　fkobe1309.pdf
   藻谷浩介・NHK 広島取材班　「里山資本主義−日本経済は『安心の原理』で動く−」の紹介
   今日本で一番求められている地域を元気にする
   里山資本主義 ＆　内橋克人氏の提案する地域自立自給経済圏」創設の実践　fkobe1310.pdf
8. From Kobe　2013 年 10 月　「天声人語」氏 2013.10.5.「解雇のできる特区」の記事を読んで
   「天声人語」氏 の冷静な解説分析に共感 政治・経済活動の視点に「命を守る」を据えてほしいもの
   あまりにひどい「解雇のできる特区」政治・経済の方向にいきどおり
9. From Kobe　2013 年 12 月　師走　あっというまの 1 年 古希を迎えて　fKobe1312.pdf